

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 2019

Rd,1 Suzuka OTGmotorsports REPORT

OTGモータースポーツ86/BRZレース Round1 鈴鹿

3月23日、24日鈴鹿サーキットで86/BRZレース Round1 鈴鹿が開催された。このレースを皮切りにOTGのレースシーズンが始まる。今シーズンの86/BRZレースは若手ドライバー育成、人材育成を目的にOTGモータースポーツがFIA-F4と共に担当することになる。

春は三寒四温と言われるが、その「寒」になった土日、天気は良いものの気温は1ケタ台と冬のような気候となり、タイヤの温度上昇に時間がかかる、内圧設定が難しいレースウィークとなった。

そんな中、今シーズンOTGモータースポーツからは、以下4選手が出場する。

クラブマンクラス

プロ野球スター選手、777号車山崎選手

プロクラス

昨年シリーズランキング5位、若手のホープ、10号車菅波選手

若手ドライバー育成の先生、レジェンド、60号車服部選手

86初挑戦、LMcorsaのGTドライバー、80号車宮田選手

◆クラブマンクラス

今シーズンのクラブマンクラスは、誰でも参加の「オープン」と上級者参加の「エキスパート」に分かれてレースが行われ、777号車山崎は、31台が出場する「エキスパート」で参戦した。

クラブマンクラス エキスパート予選で26番手と後方スタートとなった777号車山崎は、スタート直後の1周目、S字コーナーでコースアウトからコース復帰してきた車両と激突し、左フロントを破損、リタイアする結果となった。

◆プロクラス

10号車菅波は、予選でガス欠、コース上停止でペナルティの最後尾の32番スタートとなる。練習走行ではトップタイムをたたき出すなど調子は良かったが、8周のスプリントレースでは11台を抜くのが精一杯で22位ゴール。

60号車服部は、予選でマシントラブルにより30番スタート。レジェンドらしいスタートダッシュで1周目に7台をごぼう抜きするが、こちらも同じく8周では11台を抜くのが精一杯で18位ゴール。

80号車宮田は、予選でシフトミスし、18番手のスタート。「後方では素人ドライバーもあり、とてもおっかないです。慎重に、丁寧な走りを心掛けました」と言うように大きな順位変動もなく、17位でゴール。しかし、レース中盤に、前車の、プロドライバーでは思いもよらない箇所での急ブレーキで前車と接触、これがペナルティと取られ26位の降格ゴールとなった。

2019年開幕戦となったRound1鈴鹿、4者共に予選、決勝を通して何かうまく歯車がかみ合わない状況で、良い結果が出せないで終わったが、年々調子が上がっている「山崎」、昨年優勝も経験している「菅波」、表彰台の常連「服部」、秘めた可能性「宮田」の今後の活躍に期待したい

